

第1回演習の確認

- ・ 情報処理演習のガイダンス

第2回演習の目標

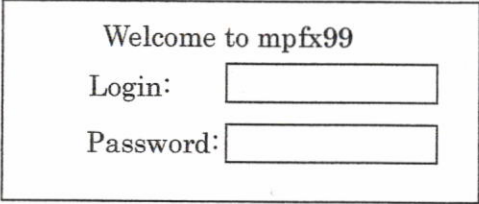
- ・ linux を立ち上げ、shutdown することができる。
- ・ login および logout ができる。
- ・ tt コマンドでタッチタイプの練習を積極的に行うことができる。

この演習室の設備は、マルチプラットフォーム型の情報処理環境です。現在、次の2つの環境がサポートされています。

- ・ Windows XP・・・電源を入れて何もしなければ、この環境になります。
(Windows XP を立ち上げてしまった場合は、慌てずに「シャットダウン」してリナックスを起動する)
- ・ RedHut Linux 9・・・・これから学習する環境です。

1. linux を立ち上げよう

足元の計算機本体の電源を入れ、引き出しを引いておきます。15秒ほど待ちますと、Windows 又は Linux が選択できます。矢印(↑↓)キーで linux を選択し、enter キーを押します。いろいろなメッセージが表示され、最後に



A terminal window showing the login process for 'mpfx99'. The text 'Welcome to mpfx99' is at the top. Below it, 'Login:' is followed by a text input field. Below that, 'Password:' is followed by another text input field.

と表示され、linux が立ち上がり、login 待ちの状態になります。

この状態で shutdown と入力し、enter キーを2度押すと、linux は停止(halt)し、自動的に電源が切れます。

2. login(ログイン)

mpfx99 login: nit30～ nit39 のいずれかを入力し、enter キーを押します。

Password: パスワードを入力(*も表示されない)し、enter キーを押します。

ユーザ名、パスワードが合っていれば、ログインしターミナルを2個開いた画面が表示されます。

3. Logout(ログアウト)

logout(ログアウト)は、ターミナル以外の場所で、マウスを左クリックして・メニューを開き「logout」を選択します。上記、ログイン画面が表示されるので shutdown と入力し、enter を2度入力します。ログアウト前に、USB をアンマウントして取外しておきます。

4. タイプの練習をしよう。

tt(ティティ:タイプ・トレーニング・プログラム)を利用してキーボードの配列を覚えましょう。

「英字キーボード図と指の位置」に示すとおり、各キーに対応する指が決まっています。

キー配列を覚えるとともに、キーと指の関係もしっかり覚えましょう。来週までには、英字キーボードの配列は確実に覚えておいて下さい。タイピング上達の秘訣は、次の5点を守って練習することです。

- (1) キーボードを見ないで打つ。(キーボードの配列を指に覚えさせる)
- (2) 指は、ホームポジションに軽く乗せ、肩の力を抜く。
- (3) 声を出して、読みながら打つ。
- (4) 必ず、休憩を取る。
- (5) 速く打とうとしない。(正確に入力していれば、速くなる)

練習方法は10分練習、10分休憩、10分練習、10分休憩、10分練習の約50分間を1練習単位とします。

5月の連休明けまでには、10 練習単位(500分:実タイプ時間は300分)練習してください。

10日に分けて(1日1練習単位)練習することをお薦めします。練習結果は確認表に記録して下さい。

5. USB メモリーを利用した作業手順

① 電源を入れ、ログインする。	ユーザ ID パスワード 入力
② USB を挿す。	
③ USB を認識させる。	mount /home/student/mem ls /home/student/mem 確認
④ 作業場所に移動する。	cd /home/student/mem/sxxxxxx pwd 確認
⑤ 作業	
⑥ USB の認識を解除する。	cd ディレクトリ（作業場所）を移動する。 pwd 確認 umount /home/student/mem ls /home/student/mem 自分の USB 出ないことを確認
⑦ USB を取り外す。	
⑧ シャットダウンする。	shutdown, enter, enter

【次回の教材】

Youth is not a time of life it is a state of mind; it is a temper of the will, a quality of the imagination, a vigor of the emotions, a predominance of courage over timidity, of the appetite for adventure over love of ease.

Nobody grows old by merely living a number of years; people grow old only by deserting their ideals. Years wrinkle the skin, but to give up enthusiasm wrinkles the soul. Worry, doubt self-distrust, fear, and despair—these are the long, long years that bow the head and turn the growing spirit back to dust.

Whether seventy or sixteen, there is in every being's heart the love of wonder, the sweet amazement at the stars and the starlike things and thoughts, the undaunted challenge of events, the unfailing childlike appetite for what next, and the joy and the game of life.

You are as young as your faith, as old as your doubt; as young as your self confidence, as old as your fear; as young as your hope, as old as your despair.

So long as your heart receives messages of beauty, cheer, courage, grandeur and power from the earth, from man and from the Infinite, so long you are young.

When the wires are all down and all the central place of your heart is covered with the snows of pessimism and the ice of cynicism, then you are grown old indeed and may God have mercy on your soul.